

むかしむかしのすみだの物語

「愛するわが子よ、
できることならもう一度抱きしめさせて」
すみだに残る、悲しくて、切ない伝説。

梅若 泰志

隅田川梅若伝説

筆と尺八・能を通して



能「隅田川」
梅若丸の母の悲劇を
描いた能楽作品。



うめわかつか
梅若塚
梅若丸を供養している塚。
(場所：木母寺)



観世流能楽師
梅若 泰志

うめわかごんげん ごえんぎ えまき
梅若権現御縁起絵巻
梅若伝説が描かれた三巻の絵巻物。
墨田区登録有形文化財。(所蔵：木母寺)



日時：2021年11月21日(日)14:00～15:30

場所：すみだ生涯学習センター(ユートリヤ) マスターホール

予約方法：右のQRコードより「お申込みフォーム」へ
アクセスし、必要事項をご入力ください。

※電話による申込みは受け付けておりません。

申込開始：10月21日(木)9:00～(先着順)

料金：無料

お問い合わせ先：umewaka.densetsu@gmail.com



企画詳細・予約

〈ご来場のみなさまへお願い〉 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、イベントが変更・中止になる場合があります。発熱や呼吸器症状がある方、その他体調が優れない方は、来場をご遠慮ください。事前の検温およびマスク等による感染予防対策をしてご来場ください。

主催：梅若泰志「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会
特別協賛：YKK 株式会社 協賛：株式会社東京紙兼

※「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会 事務局は
(公財)墨田区文化振興財団が担っています。



梅若伝説とは

墨田区・鐘ヶ淵にある木母寺に今も伝わる、すみだの伝説。
人買いにさらわれた京都の貴族の子・梅若丸は、隅田川のほとりまで連れ回され、12歳でこの世を去りました。
死後1年が経った日、愛するわが子を探し求めていた母が、塚の前で念仏を唱えると、梅若丸が出現して悲しみの対面を果たしたというおはなし。

倒れた子どもにも
用はない。
逃げてしまおう。

もう歩けない…
僕の人生も
ここまでだ…

僕が死んだら、
この道端に埋めて
柳の木を
目印に
植えて
ください。

そして、
時は過ぎ…

わが子を訪ねて、
とうとう
隅田川まで
来てしまった…

1年前、
人買いにさらわれた
梅若丸という少年が
ここで力尽きたんだ。
今日は一周忌なんだよ。

それは
私の子どもです！
なんという
ことでしょう…！

近所の里人と
僧侶が塚を築き、
1周忌の大念仏

南無阿弥陀仏…
南無阿弥陀仏…

梅若丸、現る

梅若丸…！
母はここにいます。
姿を見せておくれ。

ようやく会えたというのに、
手を取ることも、
抱きしめることも叶わぬ…

南無阿弥陀仏…
南無阿弥陀仏…

母上…

なんと
奇跡。

あれが
梅若丸か。

夫を亡くし、
息子も亡くした…
ああ会いたくて
たまらない。
彼らの元へ私も…

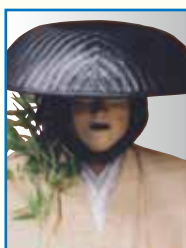
梅若権現として
厚い信仰を
うけるように
なった
木母寺に今も
なお継承される伝説

梅若伝説 登場人物



■花御前

息子の梅若丸を探し求めて狂女となり、息子の死を乗り越えられず、自ら命を絶った悲しき母。



■梅若丸

人買いにさらわれ、京都から隅田川のほとりまで連れ回された末、病気により12歳で生涯を閉じた悲運の少年。



■人買い

梅若丸をさらい、長旅の疲れから病気で倒れた梅若丸を置き去りにして逃げた非情な男。



■船頭

狂女(花御前)を川の対岸に届ける際に、隅田川のほとりで亡くなった少年の話を聞かせた人物。



■里人

倒れた梅若丸を介抱し、亡くなったあとも塚を築き、供養をしてくれた人たち。

プログラム

鐘ヶ淵にある木母寺に現存する「梅若権現御縁起絵巻」を、能の謡(うたい)や箏、尺八などの実演を通して、能や梅若伝説の見どころや魅力をご紹介します。

1. 能についての話し(10分)

観世流能楽師 梅若 泰志

2. 「梅若権現御縁起絵巻」の紹介(15分)

木母寺 62世 住職 阿部 亮照

3. 「隅田川」の実演(25分)

【出演】観世流能楽師
梅若 泰志 梅若 千音世

4. 能「隅田川」の

成立と梅若伝説の波及(15分)

【講演】すみだ郷土資料館
学芸員 高塚 明恵

5. 箏と尺八による「すみだ川」(15分)

作歌 浅野 正樹子
作曲 杉沼 左千雄

【演奏】箏演奏家 高市 雅風
尺八演奏家 田辺 頌山